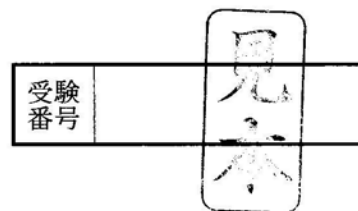


'15

前期日程



# 社会小論文問題

(教育学部)

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題に落丁，乱丁，印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
5. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
6. 時間は 120 分です。

1 子どもの貧困に関係した下の図表に注目し、以下の問いに答えなさい。

問 1. 相対的貧困率と子どもの貧困率の関係について、意見を述べなさい。

(100 字程度)

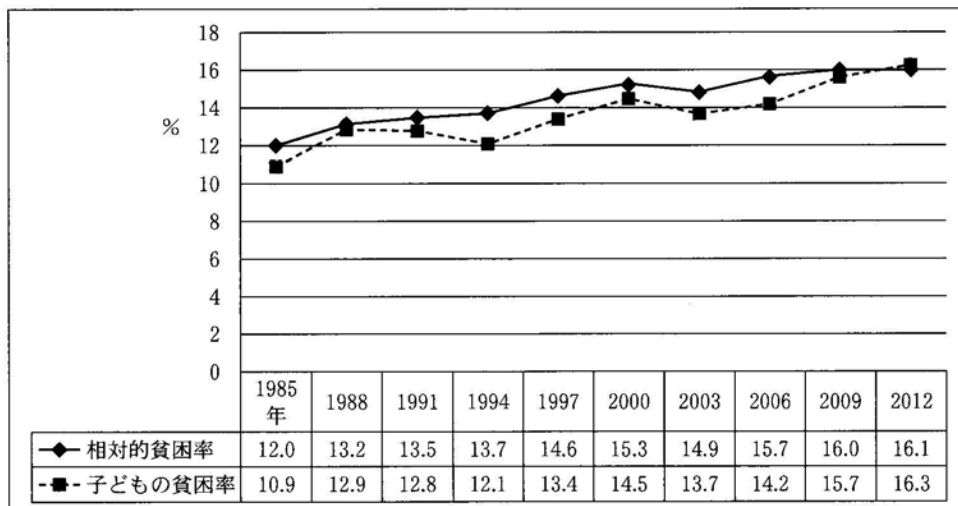
問 2. 子どもの貧困はどのような問題を引き起こしているか、意見を述べなさい。

(300 字程度)

問 3. どのようにしたらそのような問題を解決できるのか、意見を述べなさい。

(200 字程度)

図表 1 日本の相対的貧困率と子どもの貧困率

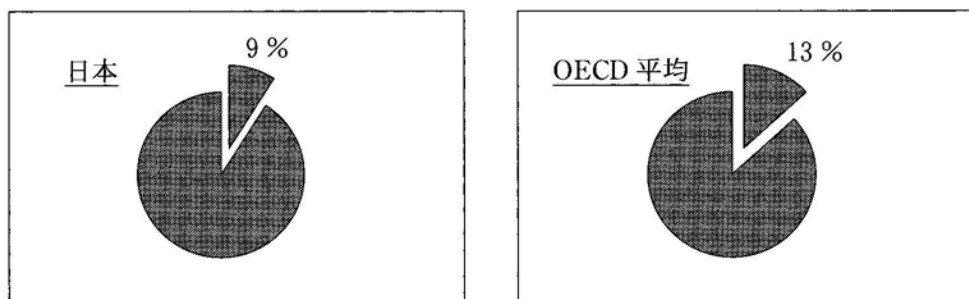


資料：厚生労働省『平成 25 年国民生活基礎調査の概況』より作成

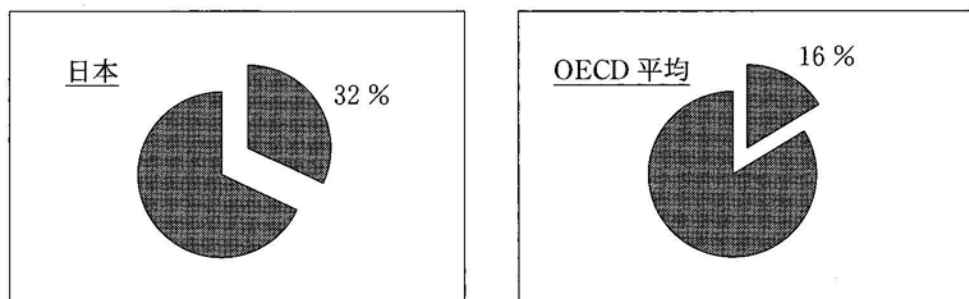
注：相対的貧困率とは、所得が真ん中の世帯を基準に、その半分未満の所得しかない貧困世帯の割合。

子どもの貧困率とは、17 歳以下の子どものうち、貧困世帯にいる子どもの割合。

図表2 政府支出に占める教育支出の割合



図表3 学校に対する教育支出の私費負担割合



資料：OECD，2012 データ，より作成。

2 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

コミュニケーションに関わることは、男女差、地域差、世代差、個人差が大きい。「日本人は」「中国人は」と言うのは、あくまで便宜的なものである。男女差、地域差、世代差、個人差があるという前提のもとで、自分の感覚を相対化するための一つのものさしとして読んでもらえるとありがたい。

日本人と中国人の違いの一つに、相手のために何かするときの行動様式の違いがある。

例えば、もてなし。日本では、食事に招かれると、ほどほどの量の料理が出されることが多いが、中国では、よく言われるように、食べきれないほどの料理が出される。「食べ物を残してはいけない」と言われて育った身としては、いささかつらいこともある。

おみやげやプレゼントも同じである。海外からの客人が帰国するとき、日本人は「スーツケースのすみにでも」「荷物になるけど」と言って、小さめの気のきいたおみやげを渡す。「受け取る側の都合を考えて、ひかえめにさしだす」というイメージだ。小さなおみやげの中にいろんな思いが込められている。

一方、中国人は、おみやげに込める思いと、おみやげの豪華さ・高価さが比例する。「這是我的一点兒心意」(これはほんの気持ちですが)と言って、大きくて豪華な、あるいは高価なものを渡す。値段が分かるように、値札もつけたままである。「荷物になるけど」ということも言わない。私の場合は仕事柄、本や辞書も買うので、小さなスーツケースだと、大きなおみやげは入らないことも多い。試行錯誤の末、何とか詰め込む。重量オーバーも心配だ。空港のカウンターで無事に手荷物を預けられたときはホッとす。

日本に帰ってスーツケースをあけて、おみやげがぎっしり詰まっているのを見ると、がんばってよかった!と思う。しかし、その一方で、何か厚意を一方的におしつけられているような気がしないでもない。

中国人のイメージは違う。食べきれないほどの料理や豪華なおみやげも、中国人にとっては「これでも自分の気持ちを表すには不十分かもしれない」となる。

「おしつけ」とはほど遠い。受け取る側にしても、日本人の「ひかえめにさしだす」では、中国人にしてみれば、どう反応したらいいか分からない。

上に述べたようなイメージで考えると、日本人と中国人の行動はまったく異なるものに見える。しかし、実際はそうではない。日本人も中国人も、相手のことを考え、「相手が受けやすいように」と行動する。しかし、日本人と中国人では、その表し方が異なる。それは、相手との「距離感覚」が異なるためである。

中国人は、「自分と相手は離れている」という感覚を基本とする。遠くにいる相手にボールを投げるときは、「えい！」と力を入れて投げないと相手に届かない。それと同じように、自分の気持ちが相手にきちんと届くようにするには、相応の力を加えないといけない。食べきれないほどの料理を出すのも、豪華なおみやげを渡すのも、そうでないと自分の気持ちが相手にきちんと伝わらないし、それは相手にも失礼だと思ってしまうからである。

一方、日本人は「自分と相手は領域を接している」という感覚を基本とする。目の前にいる相手にボールを渡すのに、「えい！」と力を入れて投げたりはしない。相手の目の前にさしだすくらいがちょうどよい。ほどほどの量の料理を出す(中国人からすれば、ほどほどの量しか出さない)のも、「スーツケースのすみにでも」と言っておみやげを渡す(中国人からすれば、その程度のものしか渡さない)のも、それと同じ感覚である。

井上優『相席で黙ってられるか一日中言語行動比較論』岩波書店、2013年  
(問題の都合上表記の一部を改めた)

問 1 本文中にある日本人・中国人の行動の違いを要約しなさい。(200字程度)

問 2 本文をふまえ、他人との関係の構築の仕方やコミュニケーションのあり方について意見を述べなさい。(400字程度)